

平成30年度 行政評価シート

施設名	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館	所在地	旭川市春光5条7丁目		
担当部局	社会教育部文化振興課彫刻美術館	電話番号	46-6277	内線	

1 施設の概要

設置目的	旭川市ゆかりの彫刻家中原悌二郎の業績を顕彰するとともに、本市における彫刻を中心とした美術の振興を図り、芸術・文化の発展に寄与するため				
設置根拠	博物館法, 旭川市彫刻美術館条例				
設置年月日	平成6年6月1日	増改築	平成29年10月		
建設費(単位:千円)	(新築時)		(増改築時)	H6:198,739 H10:73,699 H29:662,476	
規模・構造等	敷地面積:5292.48㎡, 建床面積:748.68㎡, 延べ床面積:1481.17㎡, 木造2階建室名(展示室, 資料室, 研修室, 図書室, 事務室, 収蔵庫, ラウンジ, 機械室)				
利用対象者	市民				
事業内容	・彫刻作品の展示事業(常設展, 企画展) ・中原悌二郎賞関係事業 ・教育普及事業 ・彫刻巡回展示事業 ・野外彫刻維持管理事業				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営	(平成30年度の職員体制) 正職員 4人, 臨時職員 8人, 嘱託職員 1人			
	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(一部業務委託)	(委託内容) 清掃, 機械警備, 除排雪等			
料金制度	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> その他( )				
減免制度	70歳以上の旭川市民, 障害者と介助者, 要介護者と介助者, 職務で児童生徒又は団体を引率する者など				
類似施設 (民間の施設を含む)	北海道立旭川美術館				
類似施設との違い	旭川ゆかりの彫刻家・中原悌二郎を顕彰するとともに、国指定の重要文化財である旧旭川借行社での彫刻展示により、他の美術館とは違った芸術鑑賞に触れることが出来る。				

2 管理運営の状況

(1) 管理経費 平成24年2月から平成29年10月まで大規模改修のため休館。H27, 28は大規模改修費 (単位:千円)

年度		H27年度 (決算)	H28年度 (決算)	H29年度 (決算)	H30年度 (予算)	備考
内訳	人件費	31,181	30,574	34,096	40,558	
	正職員	29,164	28,540	28,788	29,284	
	臨時・嘱託職員	2,017	2,034	5,308	11,274	
需用費		27	27	3,014	5,063	
	光熱水費			2,691	4,605	
	修繕料			8	5	
	消耗印刷費	27	27	315	453	
委託料	4,334	19,886	4,780	7,963		
使用料・賃借料	1,279	1,288	1,530	1,558		
工事請負費	118,713	314,277				
合計(A)	155,534	366,052	43,420	55,142		
収入	使用料	14	15	337	2,467	
	国庫支出金, 道支出金	85,053	162,305			
	繰入金		18,124			公の施設建設基金
	財産収入		410			現場発生材売却収入
	市債		77,601			一般補助事業債
	その他			36	103	行政財産目的外使用に係る加算金
合計(B)	85,067	258,455	373	2,570		
差引(合計(A)-合計(B))	70,467	107,597	43,047	52,572		

※人件費(正職員分)は、1人当たり平成27年度7,291千円、平成28年度7,135千円、平成29年度7,197千円、平成30年度7,321千円で計算すること。

(2) 利用状況 平成24年2月から平成29年10月まで大規模改修のため休館。

内訳	年度	H27年度 (実績)	H28年度 (実績)	H29年度 (実績)	H30年度 (見込み)	備考
総利用件数(単位:人)		-	-	4,538	9,090	
	うち免除利用分			3,276	2,350	
	うち減額利用分					
各室利用率 (単位:%)						
【参考値】 利用者一人当たりの 市費投入額(千円) (管理経費÷総利用件数)				9	6	

(3) 市民ニーズの把握

把握方法	<input checked="" type="checkbox"/> アンケート調査(実施時期, 提出件数等) 各種事業開催時に実施。平成29年度は6回1,125件 <input type="checkbox"/> 意見箱の設置(設置数, 提出件数等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法(実施時期, 方法等) 観覧者からの意見や要望を随時受け付けているほか, 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館協議会を年2回程度開催し, 事業等について幅広い意見を聴取している。										
主な意見と対応状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な意見</th> <th>対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PR方法を工夫し「彫刻のまち」を広く市民に周知していくべき。</td> <td rowspan="2">本館と分館との連携による相乗効果や教育普及活動, 各種メディアを通じて, 「彫刻のまち」のPRに努めている。</td> </tr> <tr> <td>野外彫刻然り, 彫刻全般に興味を持てるような情報が欲しい。</td> </tr> <tr> <td>キャプションや館内説明文の文字が小さい, 情報量が少ない。</td> <td rowspan="2">観覧者全ての意見をくみ取るとは困難であるが, それぞれの意見に耳を傾け, より良い展示となるよう検討している。</td> </tr> <tr> <td>キャプションや解説パネル等が簡素, 簡潔で良い。</td> </tr> <tr> <td>駐車場が狭い。わかりにくい。</td> <td>敷地面積が限られていることから, 井上靖記念館との共用駐車場について周知・誘導を図っている。</td> </tr> </tbody> </table>	主な意見	対応状況	PR方法を工夫し「彫刻のまち」を広く市民に周知していくべき。	本館と分館との連携による相乗効果や教育普及活動, 各種メディアを通じて, 「彫刻のまち」のPRに努めている。	野外彫刻然り, 彫刻全般に興味を持てるような情報が欲しい。	キャプションや館内説明文の文字が小さい, 情報量が少ない。	観覧者全ての意見をくみ取るとは困難であるが, それぞれの意見に耳を傾け, より良い展示となるよう検討している。	キャプションや解説パネル等が簡素, 簡潔で良い。	駐車場が狭い。わかりにくい。	敷地面積が限られていることから, 井上靖記念館との共用駐車場について周知・誘導を図っている。
	主な意見	対応状況									
	PR方法を工夫し「彫刻のまち」を広く市民に周知していくべき。	本館と分館との連携による相乗効果や教育普及活動, 各種メディアを通じて, 「彫刻のまち」のPRに努めている。									
	野外彫刻然り, 彫刻全般に興味を持てるような情報が欲しい。										
	キャプションや館内説明文の文字が小さい, 情報量が少ない。	観覧者全ての意見をくみ取るとは困難であるが, それぞれの意見に耳を傾け, より良い展示となるよう検討している。									
キャプションや解説パネル等が簡素, 簡潔で良い。											
駐車場が狭い。わかりにくい。	敷地面積が限られていることから, 井上靖記念館との共用駐車場について周知・誘導を図っている。										

(4) サービス向上, 利用者増に向けた取組, 業務改善, 経費削減などの取組(業務委託は次項に記載)

取組内容	実績・成果
取組内容と実績成果	
収蔵作品を中心とした企画展の開催	優れた芸術・文化に触れる機会を創出し, 生涯学習の充実を図った。(H29企画展3回(観覧者数:4,538人常設展観覧者含))
中原悌二郎賞及び関連事業の実施	贈呈式等の事業を通じて, 市民の関心や認知度の向上に努めた。(第40回贈呈式(式典参加者:58名), 受賞作家ギャラトーク:約40名)
彫刻巡回展示・出前授業	彫刻に接し, 親しむこと等を通じて, 「彫刻のまち旭川」に対する愛着心や意識の高揚を図った。(巡回展示20校5,299人, 出前授業15校1,043人, 彫刻教室2回57人, 彫刻散歩1回16人)
こども彫刻教室・彫刻散歩	
旭川彫刻サポート隊	ボランティアによる清掃・点検活動により, 彫刻に対する市民意識向上や維持管理経費の節減が図られた。(会員数153人)
今後の予定	利用者の意見を反映させながら, より魅力のある企画展や各種教育普及活動を実施していく。

(5) 業務委託の実績と予定

業務委託の実績	年度	内容
業務委託の実績	H6	機械警備業務の委託
	H6	清掃業務の委託
	H6	除排雪業務の委託
今後の予定	隣接する井上靖記念館(指定管理者制度導入済み)との一括発注による効率化を図るほか, 井上靖記念館に係る業務についても, 市が直営で実施している業務を指定管理者に移管するなど更なる効率化について検討を進める。	

(6) 指定管理者制度の導入について

指定管理者の担い手	<input type="checkbox"/> 担い手になりうる団体がある				
	↳ <input type="checkbox"/> 市内 <input type="checkbox"/> 市内にはないが市外にはある				
	<input checked="" type="checkbox"/> 現時点では、担い手になりうる団体がない				
説明	美術館の運営にあたっては、施設管理業務に加え、学芸員が常駐し、展示会の企画や収蔵作品の管理、収集、整理といった専門性の高い業務を履行する必要があるが、こうした業務を担うことが出来る団体が市内には存在せず、市外の美術館等の指定管理者は、その地域の文化振興を目的に設置された公益財団法人やNPOが担っており、当美術館の指定管理者とはなりうる状況にはない。				
メリットの比較	サービス向上	<input type="checkbox"/> 市直営	<input type="checkbox"/> 同程度	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入	<input checked="" type="checkbox"/> 不明
	コスト削減	<input type="checkbox"/> 市直営	<input type="checkbox"/> 同程度	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入	<input checked="" type="checkbox"/> 不明
	説明	指定管理者制度の目的からするとサービス向上とコスト削減が図られるものと想定されるが、担い手になりうる団体がない状況にあっては、メリットの比較は困難である。			
他市の導入状況	・中核市6施設で導入している。 ・道内では6施設が導入している。				

3 施設の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・再開館後の認知度がまだ低い状況にある。</li> <li>・収蔵庫が不足しており、所蔵作品や台座等備品の保管場所確保が非常に困難な状況となっている。</li> <li>・敷地面積が狭く、駐車場や冬期の雪捨て場が十分に確保できていない。</li> </ul>
--

4 公共施設等総合管理計画(施設再編計画)における評価

A継続・単独施設	将来にわたり市が保有し続ける施設で、事業・設備の状況から、単独施設が望ましいもの。
----------	---

5 評価

(1) 1次評価(所管部局)

活動量と成果	説明 ※活動量とは、利用件数や利用率、事業の実施件数など
<input type="checkbox"/> 高い	昨年10月に約6年ぶりに再開館した施設であることから、観覧者数等の実績データは乏しいが、旭川ゆかりの彫刻家・中原悌二郎を記念した美術館として、彫刻を中心とした芸術作品を鑑賞する場の提供や各種教育普及活動を通じて、市民が彫刻に親しみ、優れた芸術、文化に接する機会を設けているほか、地域文化振興の柱である「彫刻のまち旭川」に対する意識の高揚を図っている。 また、美術館として活用する「旧旭川偕行社」は重要文化財の指定を受けており、明治期に建てられた重要文化財の中で日本の近現代彫刻史を展望することができるといった他の美術館とは異なった優れた特徴を有している。
<input type="checkbox"/> やや高い	
<input checked="" type="checkbox"/> 予定どおり	
<input type="checkbox"/> やや低い	
<input type="checkbox"/> 低い	
運営の効率性	説明
<input type="checkbox"/> 高い	施設管理に当たって、隣接する井上靖記念館と一括で外部発注することにより効率化を図っているほか、野外彫刻の清掃や日常的な点検についてはボランティア団体が実施するなど経費の削減に取り組んでいるが、指定管理者制度の導入については、現時点で担い手になるうる団体がなく、実施できる状況にはない。
<input type="checkbox"/> やや高い	
<input checked="" type="checkbox"/> 標準	
<input type="checkbox"/> やや低い	
<input type="checkbox"/> 低い	
評価及び見直しの内容	
彫刻美術館では、これまでも各種事業を通じて、市民が彫刻に親しみ、優れた芸術、文化に接する機会を提供してきたが、旧旭川偕行社の大規模改修完了により約6年ぶりに再開館となったため、彫刻のまち旭川の発信拠点であり中心的な役割を担う施設として、これまで以上にその魅力発信やニーズ把握に努めながら、市民がより興味を持って、彫刻をはじめとした芸術文化に親しむことができるよう運営していく。また、管理運営の効率化に当たっては、隣接する井上靖記念館との一括外部発注や指定管理者制度を導入している同館への業務移管について、更なる検討を進める。	

(2) 外部評価(行財政改革推進委員会の意見)

評価及び見直しの内容

(3) 2次評価(行政評価検討会議)

評価及び見直しの内容
これまで以上に情報発信を工夫し周知に努めるとともに、展示方法の工夫やイベント等を企画するなど、入館者の増を図ること。 また、井上靖記念館、春光園を含めたエリア全体の魅力向上を図るとともに、井上靖記念館との一括外部発注や指定管理者制度の導入を検討すること。